

(2) 渋滞対策、多様な料金サービスの推進

ネットワーク整備の推進

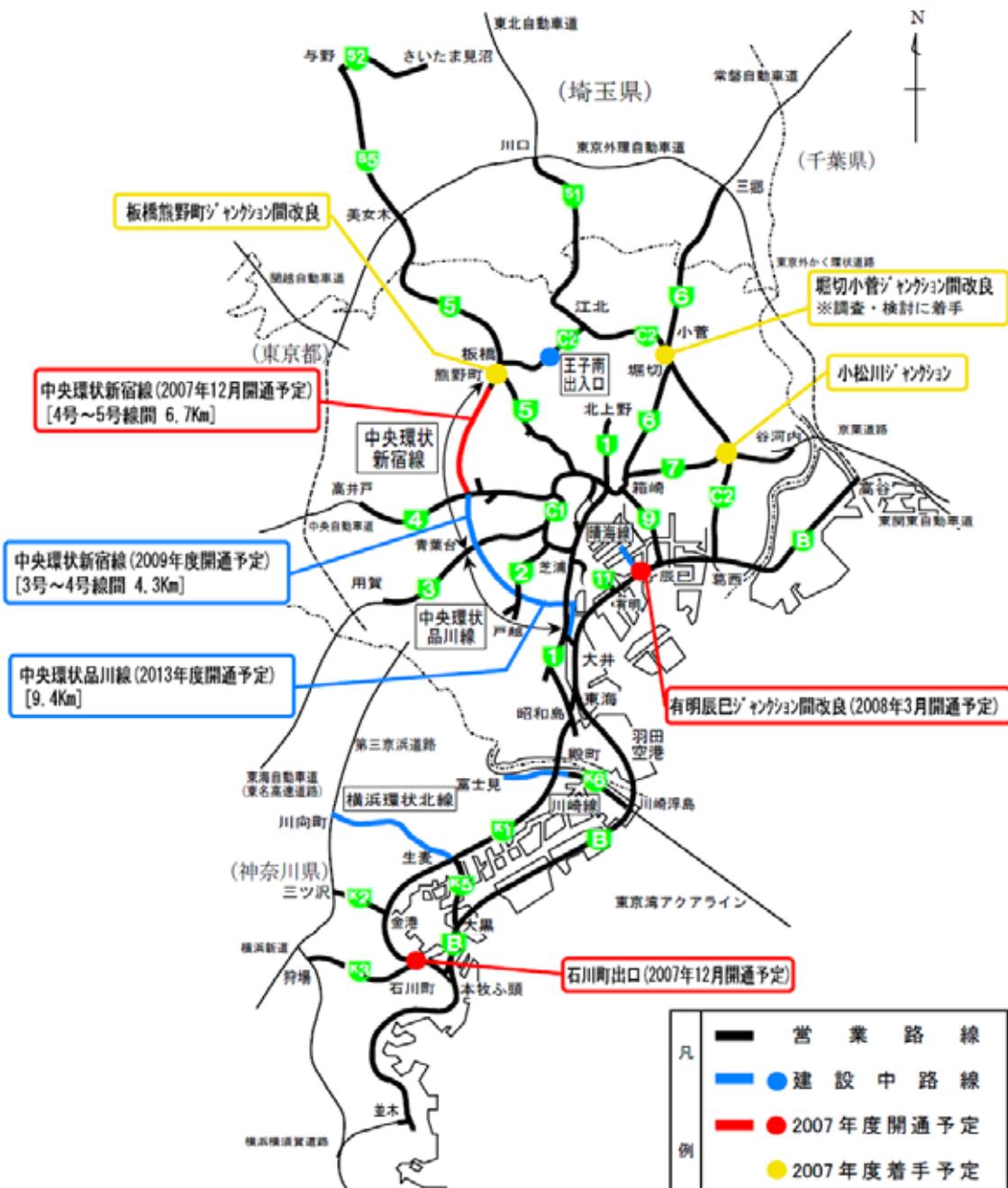
首都高速道路は未だネットワークが整備途上であるため、都心環状線とこれに接続する各放射線の合流部等を中心に渋滞が発生しています。首都圏三環状道路のひとつである中央環状線を全線整備すると、首都高速道路全体の流れがスムーズになり、現在の東京線の渋滞がほぼ解消するものと予測しているため、中央環状線の整備促進に全力で取り組んでいます。

現在、西側区間の中央環状新宿線（延長11km）については、全区間に渡って工事を促進しています。このうち、**高速5号池袋線から中央道につながる高速4号新宿線の区間（6.7km）を本年12月に開通させる予定です。**

また、2006年度から着手した南側区間の中央環状品川線（延長9.4km）の整備もより一層促進していきます。

さらに、中央環状線のほか、首都圏の分散型ネットワークを実現し、業務核都市の育成・機能強化等、首都圏の均衡ある発展に資する川崎線及び横浜環状北線並びに晴海線についても精力的に整備を進めています。

2007年度開通箇所図



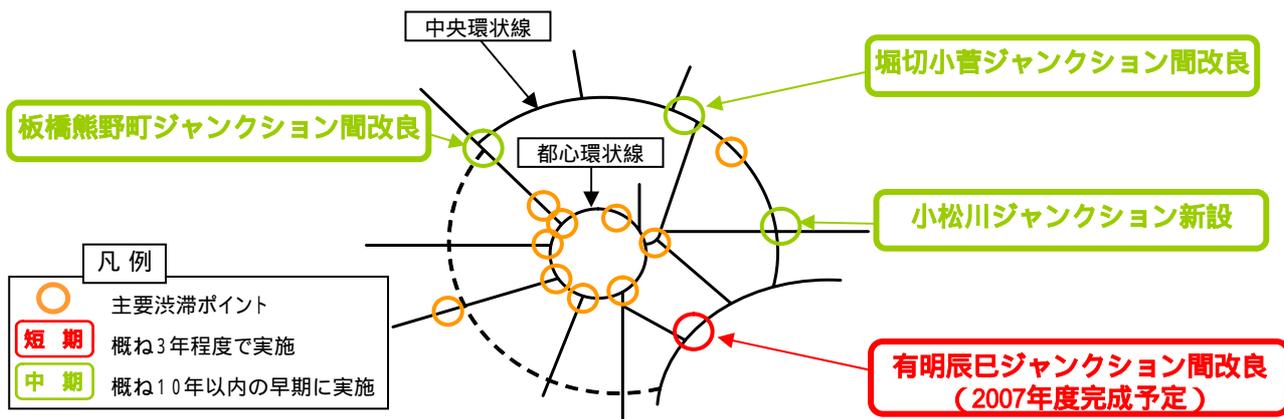
【開通路線の概要についてはP24～27『資料2』をご覧ください。】

安全性・快適性・円滑性を高める渋滞対策アクションプログラムの推進

お客様の要望が特に多い渋滞対策について、今後の道路ネットワーク整備やボトルネック対策といったハード対策や、情報提供、料金施策といったソフト施策を実施時期を含めて昨年7月に『首都高渋滞対策アクションプログラム』としてとりまとめました。

各種渋滞対策を迅速かつ重点的に実施するとともに、渋滞対策の進捗状況や利用状況の変化に応じて随時見直しを行うことにより、**中央環状新宿線全線完成（2009年度予定）**などにより渋滞を半減させ、**中央環状品川線完成（2013年度予定）**などにより渋滞をほぼ解消することを目指します。

これと併せて中央環状線機能強化事業を推進していきます。具体的には、中央環状線の道路ネットワーク効果をより有効に発揮させるために、中央環状線のボトルネックとなる箇所等の車線増や中央環状線とのジャンクション機能が不足している箇所の渡り線の追加を行います。これらの事業は早期に着手し、中央環状線の完成までに整備します。

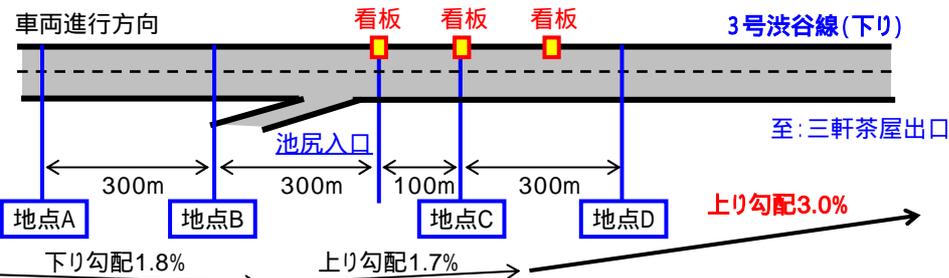


さらに短期的な施策として標識・区画線等の改善により一層渋滞が解消するよう努めます。具体的には、分合流部の速度低下を抑制する車線別案内標識・路面標示、逆ト型標識・路面標示などの改善を行うとともに、合流注意看板、上り勾配注意看板を設置します。

< 対策事例：3号渋谷線下り池尻入口付近 >

速度の低下が見られる時間帯（18時～24時）の平均走行速度が**0.8～4.3km/h上昇**。
走行速度の上昇に伴い、渋滞損失時間も**8%減少**。

看板の設置位置と速度計測地点

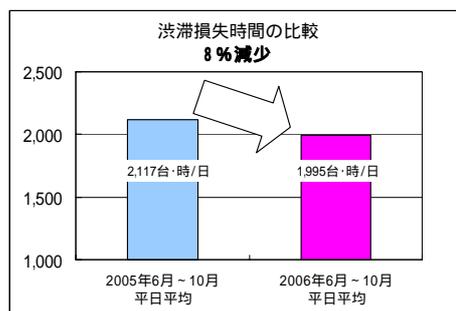


* 上記対策と合わせて、池尻入口の合流案内看板を設置

平均走行速度(18時～24時)の比較



渋滞損失時間の比較



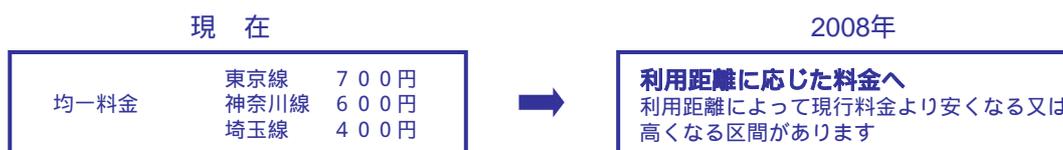
距離別料金制への移行の検討と多様な料金サービスの推進

距離別料金制への移行の検討 ～2008年、首都高は「距離別料金」へ～

ETCを活用した料金サービスの導入により、ETC利用率を高めるとともに、2008（平成20）年为目标として距離別料金制への移行を目指します。

お客様のご利用の距離に応じた公平な料金となる「距離別料金」に移行すると、短い距離で首都高を気軽にご利用いただけるようになります。また、一般道と首都高を状況に応じて乗り降りすることが容易になるなど、首都高及び周辺の道路ネットワークが有効活用され、渋滞が緩和し環境改善が図られます。

距離別料金制の制度設計にあたっては、お客様が利用しやすく、また、首都高速道路と他の高速道路がネットワークとしての効用が十分発揮されるような首都圏全体における料金体系のあり方を踏まえつつ検討を進めます。



多様な料金サービスの推進

2007年度においては、現行の割引制度を継続しつつ、社会実験などによりETCを活用した更なる弾力的な料金サービスについて検討を進めてまいります。

<ETCを活用した料金サービス>

曜日別時間帯別割引



3%OFFキャンペーンは6/30までの期間限定。

お得意様割引

ETCクレジットカードをご利用のお客様に対し、前々月のお支払い実績に応じて割引

前々月の月間お支払い額	割引率
5千円以上 1万円未満	1%
1万円以上 3万円未満	2%
3万円以上 5万円未満	4%
5万円以上 7万円未満	6%
7万円以上	8%

ETC特定料金区間	東京線【入谷～本町】など8区間 300円（普通車） 東京線【用賀～池尻】など5区間 500円（普通車）	ETC無線利用限定の特定料金区間を設定。
環境ロードプライシング	首都高速湾岸線（大黒JCT～川崎浮島JCT） 神奈川線1200円 950円（大型車限定）	川崎地区及び横浜地区において平行する横羽線と湾岸線の大型車に対し、料金格差を設け、湾岸線への交通転換により沿道環境の改善を図る。
湾岸線（横浜地区）割引社会実験	首都高速道路の横浜市内出入口～湾岸環八出入口又は空港中央出入口 神奈川線600円+東京線300円 700円（普通車）	首都高速神奈川線の横浜市内から羽田空港までの区間について、料金割引による横浜方面からの空港アクセスの改善効果などを検証するため、料金割引の社会実験を実施。
距離別料金社会実験	東京線・神奈川線（普通車） 入口・出口ともに対象路線・対象区間内のご利用の場合 東京線100円引き 神奈川線50円引き 埼玉線（普通車） 日曜・祝日のみ、ご利用距離により日曜・祝日割引とあわせて300円（～8km）、320円（8～12km）、340円（12km～）	国幹道等に接続する放射路線を対象に、短距離のご利用について特定料金区間とあわせて距離別の料金を設定することにより、首都高速道路ならびに一般道路の利用状況等に及ぼす影響等を把握するため実施。